

# 農山漁村地域に関する都市住民アンケート（インターネット調査）の結果について

平成 25 年 2 月  
国土交通省国土政策局

## 1. 調査の概要

### (1) 調査の趣旨

過疎地域等の集落では、人口減少や高齢化が進む中、商店・スーパー等の閉鎖、公共交通の利便性低下など生活サービス機能の低下に加え、働き口の減少、空き家や耕作放棄地の増加、獣害の発生や森林の荒廃など、様々な問題が広がっている。さらに、暮らしの安心を支えるコミュニティ機能が低下し、集落の維持・存続が危ぶまれる状況が拡大することが懸念されている。こうした集落の課題に対し、基礎的な生活サービスの確保など、暮らしの安心を確保し、集落を維持・活性化する対策が求められている。

全国の集落で様々な地域活性化の取り組みが行われているが、地域活動の担い手不足が大きな課題である。持続可能な集落地域づくりを進めていく上で、都市住民との交流の拡大が求められる。

このため、人口減少、高齢化が進む集落が集まる農山漁村地域に対する都市住民の意識や交流の状況、今後の交流・活動意向等について、東日本大震災後の変化も含め把握するため、全国の都市住民を対象にインターネットを通じたアンケートを実施し、その結果をとりまとめた。

### (2) 調査の方法

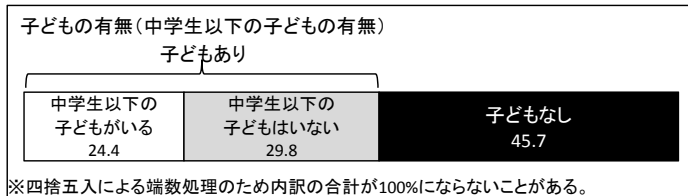
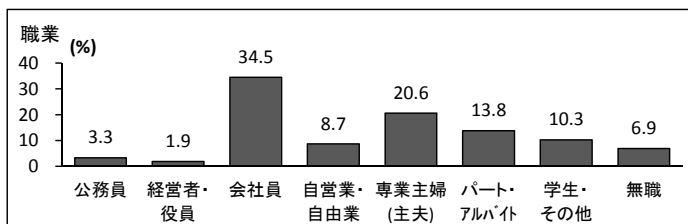
- ①調査手法: インターネットアンケート調査
- ②調査対象: ネットリサーチ会社に登録している東京 23 区内及び全国の人口 30 万人以上の都市在住の 20 歳～70 歳未満のモニター
- ③抽出方法: 平成 22 年国勢調査結果に基づき、地方自治体ごとの回収総サンプル数、年齢別回収サンプル数の割り付けを実施
- ④実施期間: 平成 24 年 10 月 12 日(金)～10 月 15 日(月)
- ⑤有効標本数: 3,320 サンプル(男性 1,660 サンプル、女性 1,660 サンプル)

### (3) 回答者属性 (N=3,320) 単位: %

年齢層別	20代	30代	40代	50代	60代
	17.7	22.8	20.7	18.2	20.6

未既婚	未婚	既婚
	38.0	62.0

農山漁村地域との関わり	農山漁村育ち 生活経験あり	農山漁村との関わりなし
	16.9	70.3



※四捨五入による端数処理のため内訳の合計が100%にならないことがある。

地域別	北海道	東北圏	首都圏	北陸圏	中部圏	近畿圏	中国圏	四国圏	九州圏	沖縄県
	5.1	4.2	40.7	1.4	11.8	19.3	5.1	2.3	9.5	0.6

## 2. 調査結果の主なポイント

### (1) 農山漁村地域に対する印象やイメージについて

- ほぼ全ての回答者が農山漁村地域は「大切」と思っており、年齢層が上がるほど、「非常に大切だと思う」とする割合は高い。
- 約4割の回答者が東日本大震災をきっかけに農山漁村地域を以前より大切だと思うようになった。また、年齢層が上がるほど、その割合は高い。

### (2) 農山漁村地域との関わりについて

- 3割弱の回答者が東日本大震災をきっかけに今後さらに農山漁村地域との関わりを深めたいと思うようになった。
- 今後の農山漁村地域との関わり方として、「移住」又は「二地域居住」を希望する回答者は1割弱であり、5割弱が「訪問・滞在」を、約3割が「居住・訪問以外の関わり」を希望している。
- 移住又は二地域居住を希望する人の割合は、男性が12.5%（移住4.9%、二地域居住7.6%）、女性が5.5%（移住2.2%、二地域居住3.3%）と、男性が女性の2倍以上である。
- 一方で、農山漁村地域への移住又は二地域居住を希望していても、「現実的には難しい」とする人が約4割であり、女性（41.8%）の方が男性（35.6%）よりもその割合は高い。

### (3) 農山漁村地域における問題の認知度と必要な対策について

- 農山漁村地域で生じている問題について、「商店・スーパー等の閉鎖」（81.5%）や「働き口の減少」（81.4%）、「公共交通の利便性低下」（75.7%）といった地域住民の生活に関わる問題への認識が高い。
- 農山漁村地域に対して必要と考える取組としては、「産業振興・雇用創出」（57.0%）、「交通アクセス整備」（50.7%）、「生活環境整備」（45.5%）など、地域住民が住み続けるために必要な対策が挙げられている。

### (4) 農山漁村地域での活動への参加について

- 農山漁村地域を訪れたことのある回答者の7割弱は農山漁村地域における活動への参加経験はない。一方で、今後何らかの活動に参加したいという意向は回答者の半数以上が持っている。
- 特に20代では、「農作業の手伝い」（33.2%）や「地域の伝統芸能や祭りの手伝い」（29.9%）、「災害支援や雪下ろしなどのボランティア活動」（18.2%）に対する関心が他の年齢層に比べて高い。
- 農山漁村地域での活動に参加する上では、「活動内容に関する相談・情報提供窓口が都市部にあること」（59.4%）が最も必要とされている。20代・30代では、「現地までの公共交通手段や送迎」、「交通費や滞在費などの補助」も比較的高い。

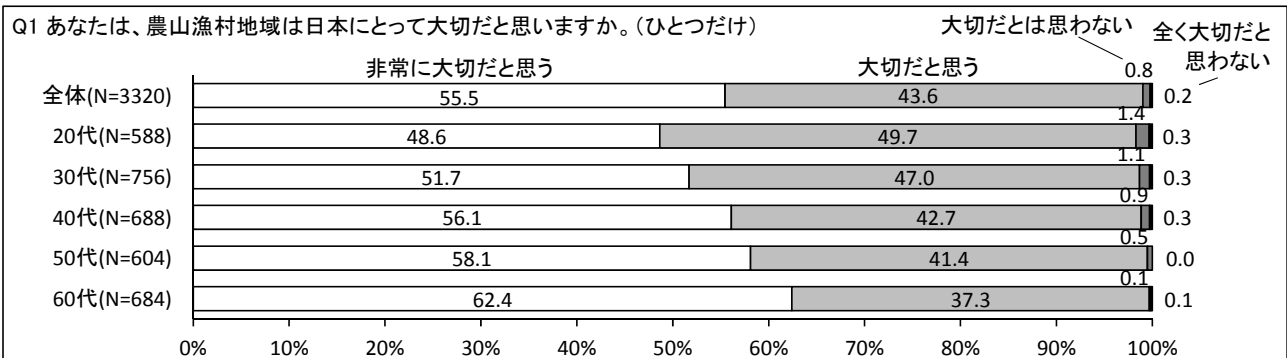
### 3. 調査結果

#### 3-1. 農山漁村地域に対する印象やイメージ

○ほぼ全ての回答者が農山漁村地域は「大切」と思っており、年齢層が上がるほど、「非常に大切だと思う」とする割合は高い。

○大切だと思う理由は「食料や水を生産・供給しているから」(95.3%)が最も多く、次いで「多様な自然環境を有しているから」(78.5%)、「日本の風土ならではの景観が残されているから」(71.9%)となっている。

○約4割の回答者が東日本大震災をきっかけに農山漁村地域を以前より大切だと思うようになった。また、年齢層が上がるほど、その割合は高い。

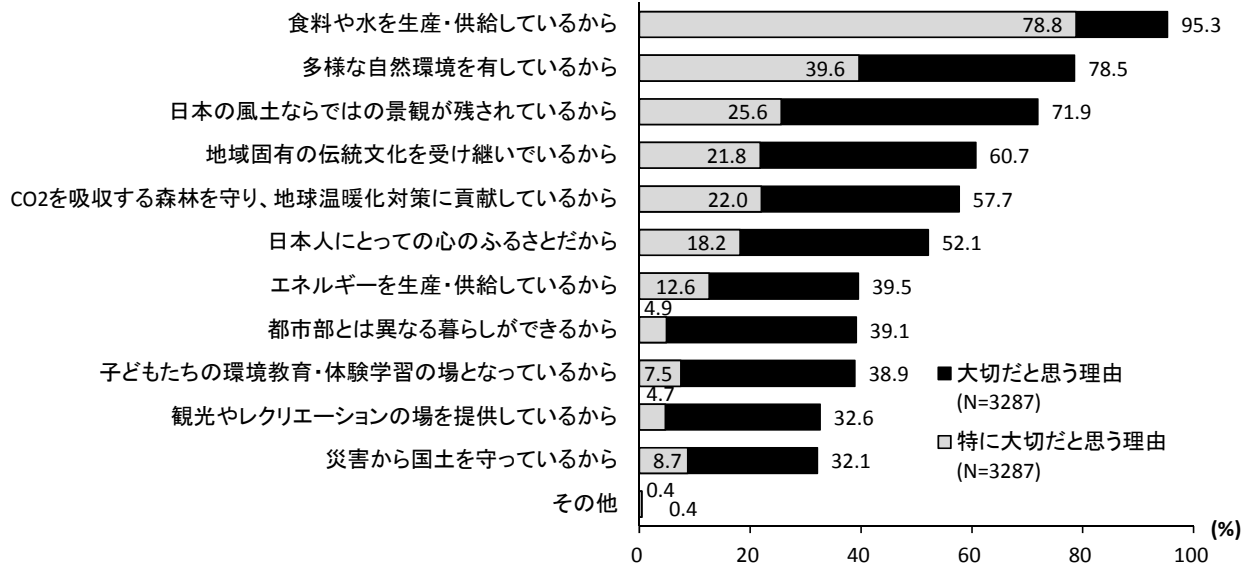


※四捨五入による端数処理のため内訳の合計が100%にならないことがある。

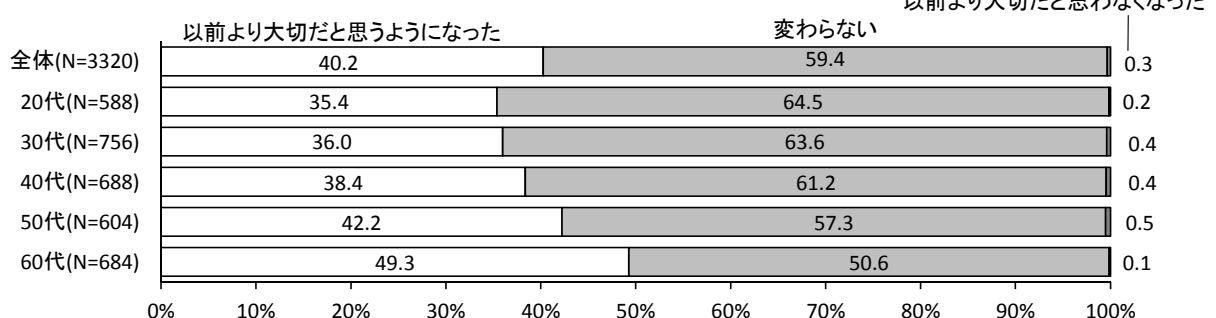
Q2 農山漁村地域が日本にとって大切だと思う理由は何ですか。(いくつでも)

また、その中で特に大切だと思う理由は何ですか。(3つまで)

※Q1で「非常に大切だと思う」「大切だと思う」と回答した方に質問。



Q3 東日本大震災をきっかけに農山漁村地域に対する思いは変わりましたか。(ひとつだけ)



※四捨五入による端数処理のため内訳の合計が100%にならないことがある。

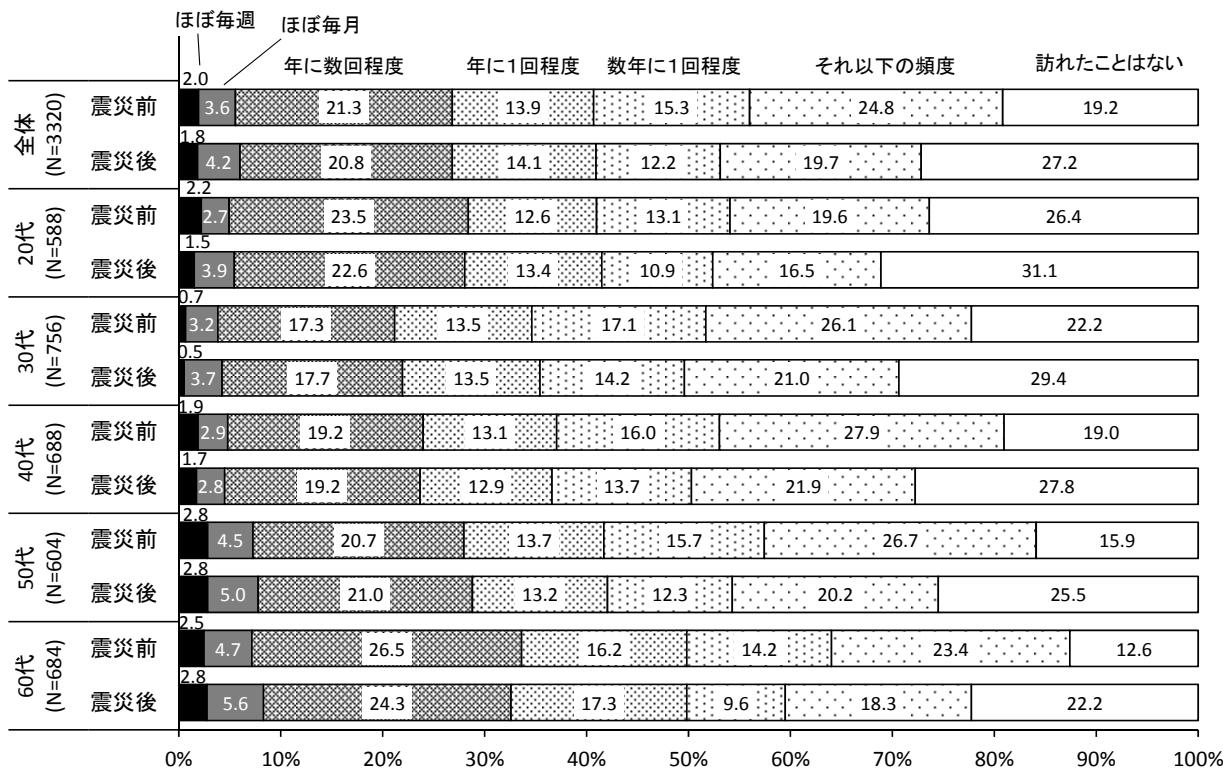
### 3-2. これまでの農山漁村地域との関わり

○農山漁村地域への訪問頻度については、年1回程度以上の人は約4割で、東日本大震災前後であまり変化はみられない。

○20代・50代及び60代では、「年に数回程度」以上の頻度で訪れる人が約3割と、比較的訪問頻度は高い。

○農山漁村地域への訪問目的は、東日本大震災の前後を問わず、「観光・レクリエーション」と「親族の家事手伝いや帰省」が多い。また、震災前後で比較すると、「観光・レクリエーション」目的の訪問は若干減少し、「災害支援や雪かきなどのボランティア活動への参加」が若干増加している。

Q6 あなたは、農山漁村地域をどれくらいの頻度で訪れますか。(震災前後それぞれひとつずつ)

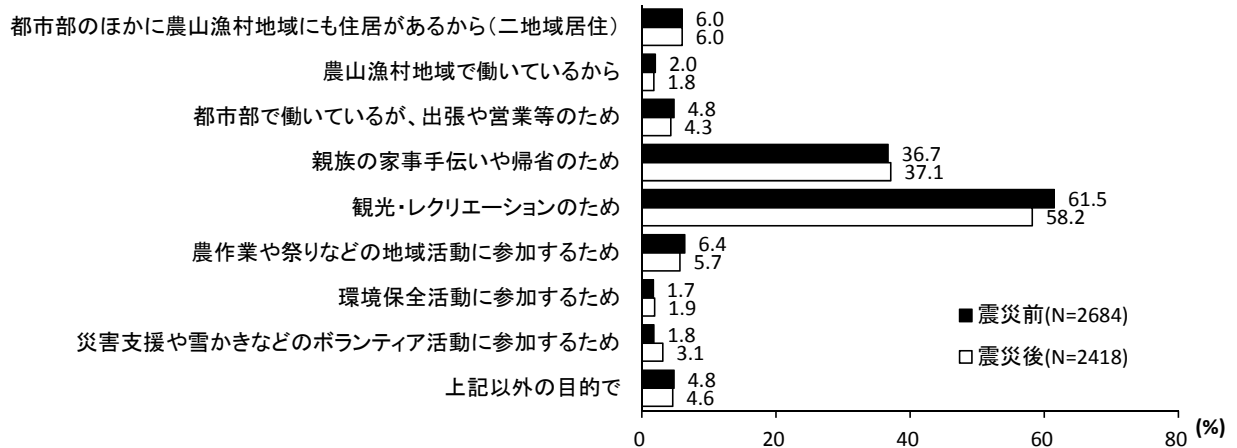


※四捨五入による端数処理のため内訳の合計が100%にならないことがある。

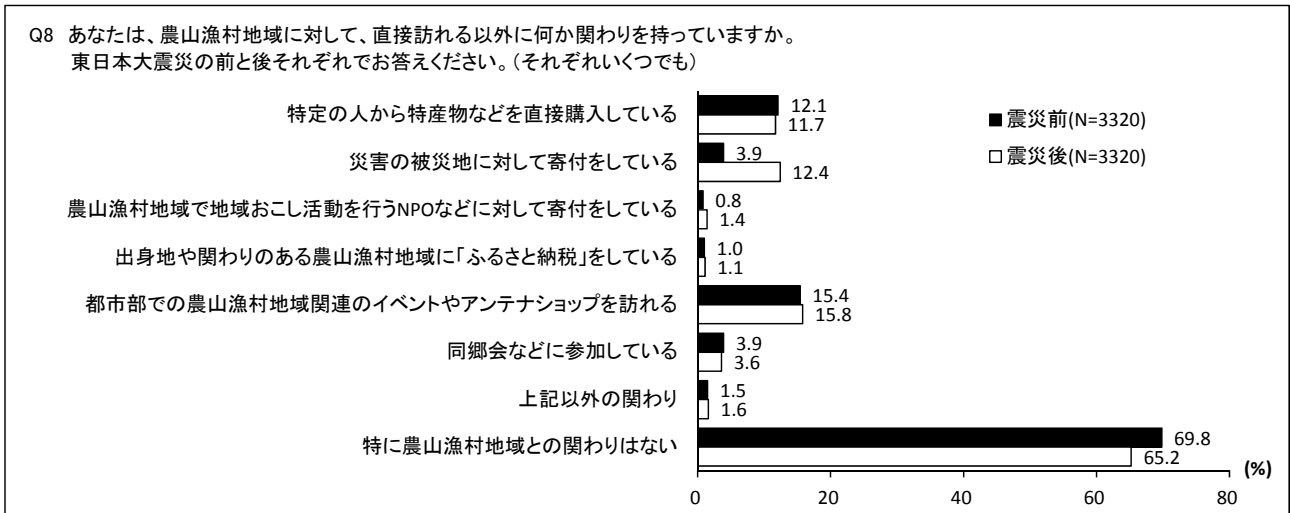
Q7 あなたが農山漁村地域を訪れる理由や目的は何ですか。

東日本大震災の前と後それぞれでお答えください。(それぞれいくつでも)

※Q6で「訪れたことはない」以外の回答をした方に質問。



○農山漁村地域を訪れる以外の関わりを持っている回答者は東日本大震災の前より後の方が増えており、また関わり方として、震災後は特に「災害の被災地に対する寄付」が増加している。

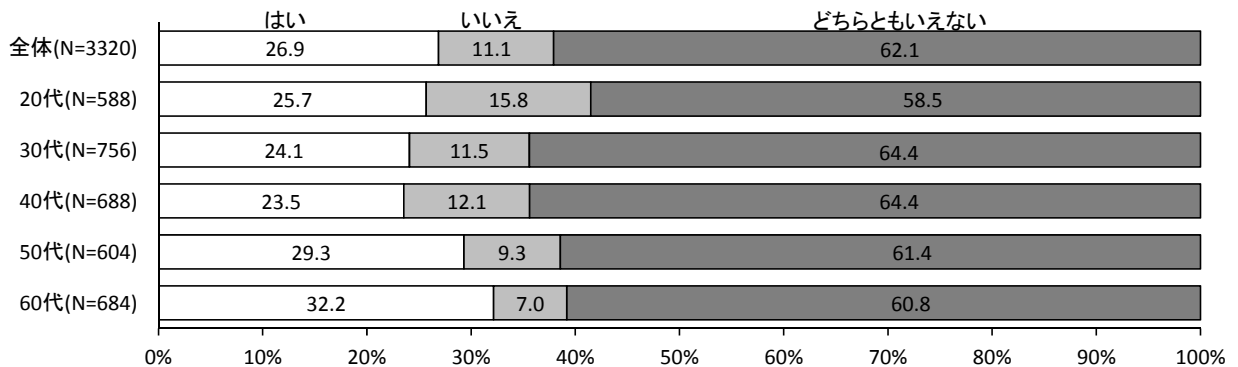


### 3-3. 今後の農山漁村地域との関わりに対する考え

#### (1) 農山漁村地域との関わり方に関する希望

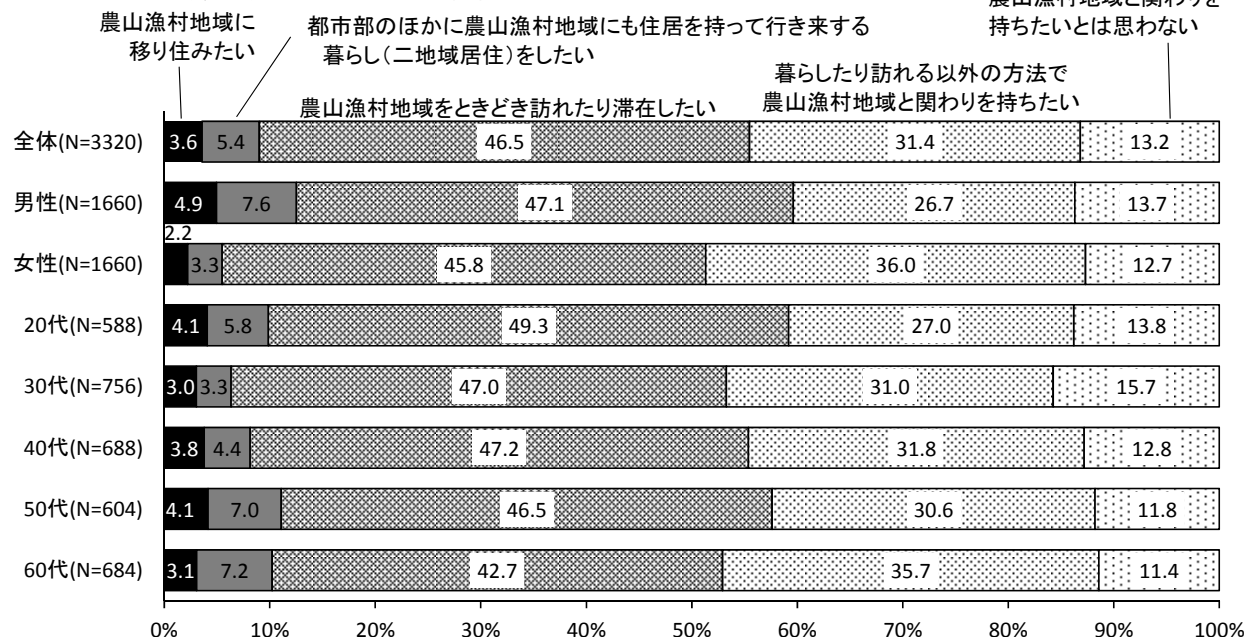
- 3割弱の回答者が東日本大震災をきっかけに今後さらに農山漁村地域との関わりを深めたいと思うようになった。
- なかでも、50代・60代では、東日本大震災をきっかけに今後さらに農山漁村地域との関わりを深めたいと思うようになったとする回答者が約3割を占め、他の年齢層に比べて多い。
- 今後の農山漁村地域との関わり方として、「移住」又は「二地域居住」を希望する回答者は1割弱であり、5割弱が「訪問・滞在」を、約3割が「居住・訪問以外の関わり」を希望している。
- 移住又は二地域居住を希望する人の割合は、男性が12.5%(移住4.9%、二地域居住7.6%)、女性が5.5%(移住2.2%、二地域居住3.3%)と、男性が女性の2倍以上である。
- 二地域居住希望の割合が比較的高いのは50代・60代(約7%)である。

Q9 あなたは、東日本大震災をきっかけとして、今後さらに農山漁村地域との関わりを深めたいと思うようになりましたか。(ひとつだけ)



※四捨五入による端数処理のため内訳の合計が100%にならないことがある。

Q10 あなたは今後、農山漁村地域とどのような関わりを持ちたいとお考えになりますか。(ひとつだけ)

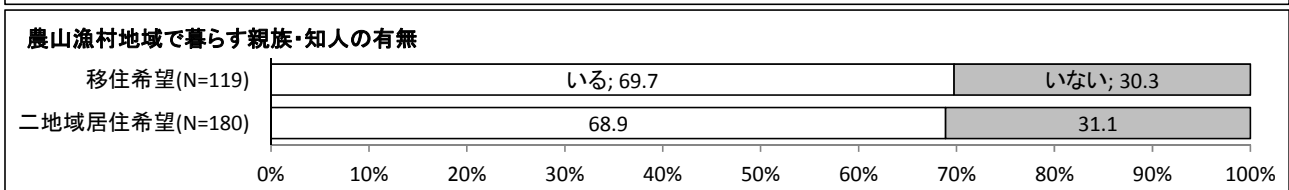
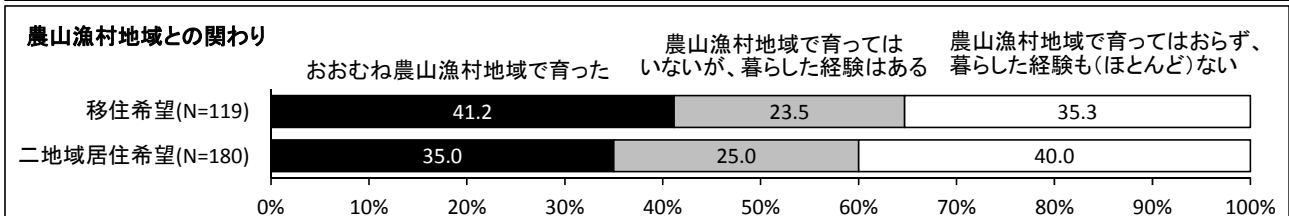
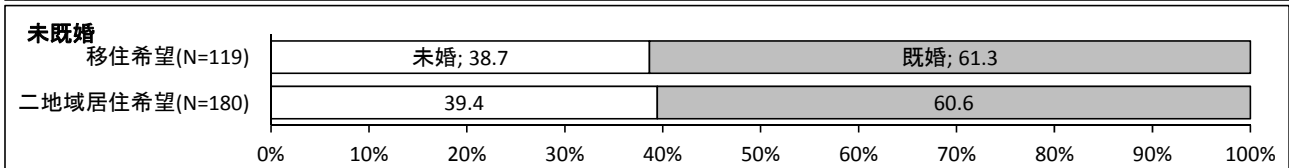
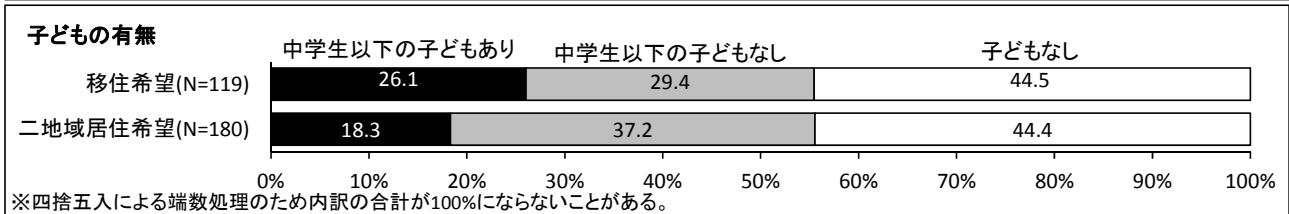
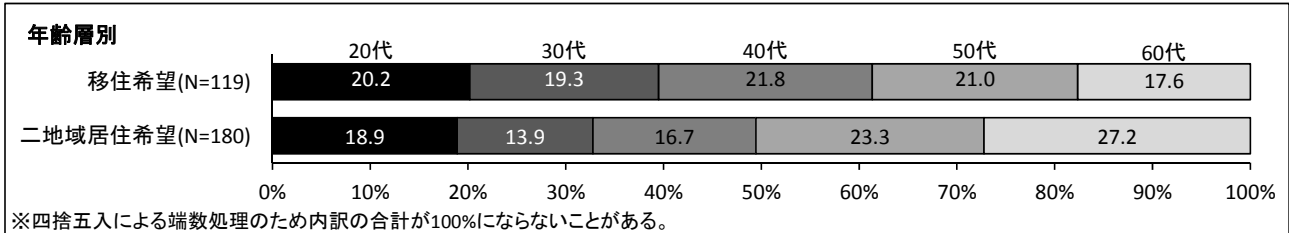
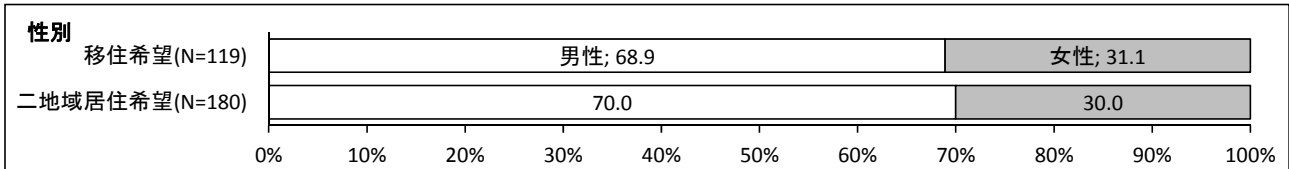


※四捨五入による端数処理のため内訳の合計が100%にならないことがある。

## (2) 農山漁村地域への移住又は二地域居住希望者の属性

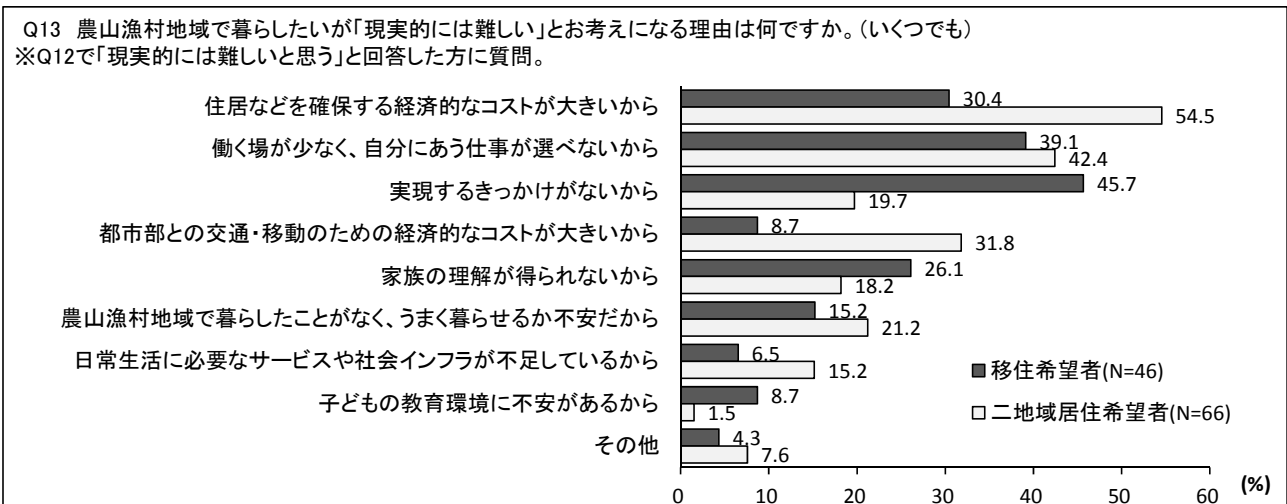
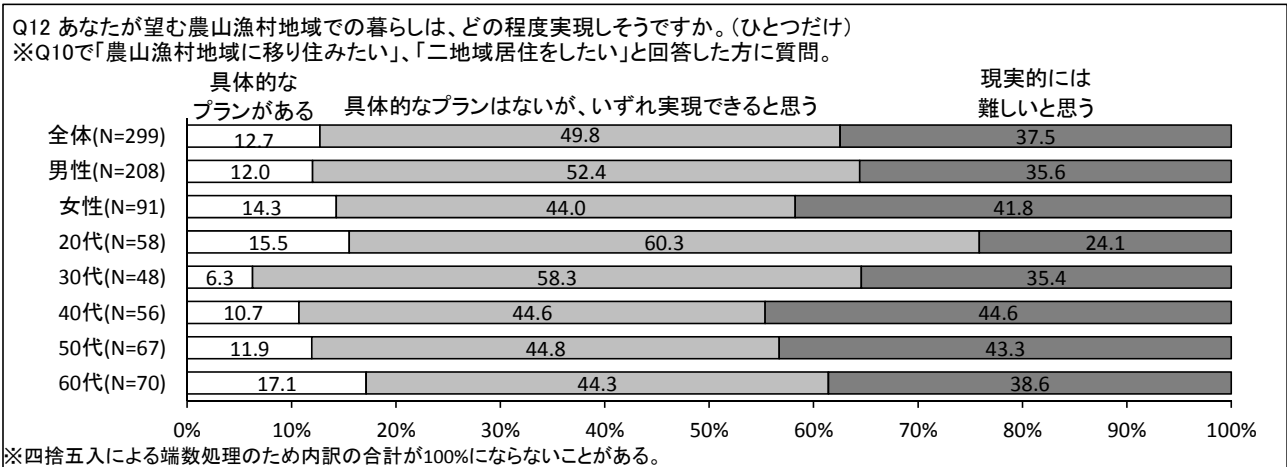
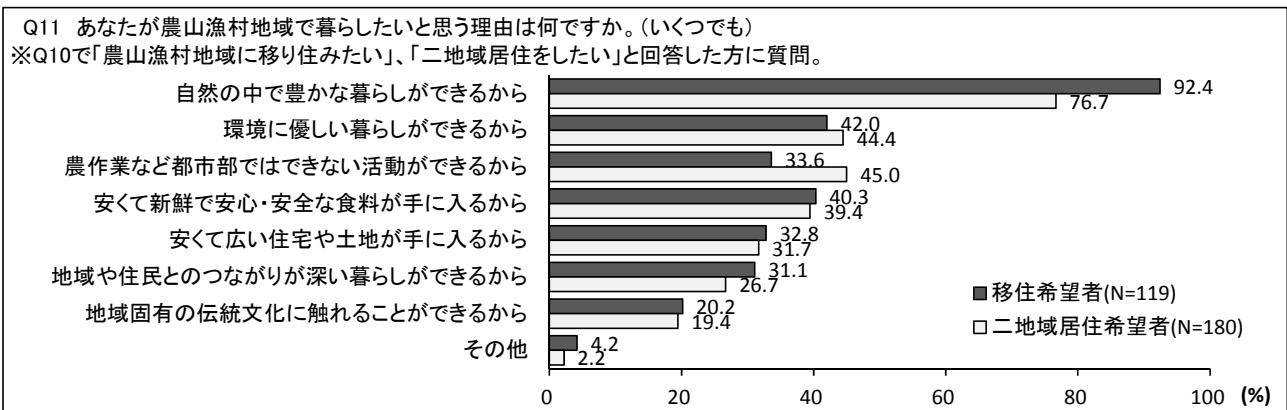
○移住又は二地域居住希望者の約7割は男性であり、二地域居住希望者の約5割は50代以上である。

○約6割は実際に農山漁村地域での生活経験があり、移住希望者の約4割、二地域居住希望者の35%は農山漁村育ちである。また移住又は二地域居住希望者の約7割は農山漁村地域に親族や友人がいる。



### (3) 農山漁村地域への移住又は二地域居住の希望理由と実現可能性

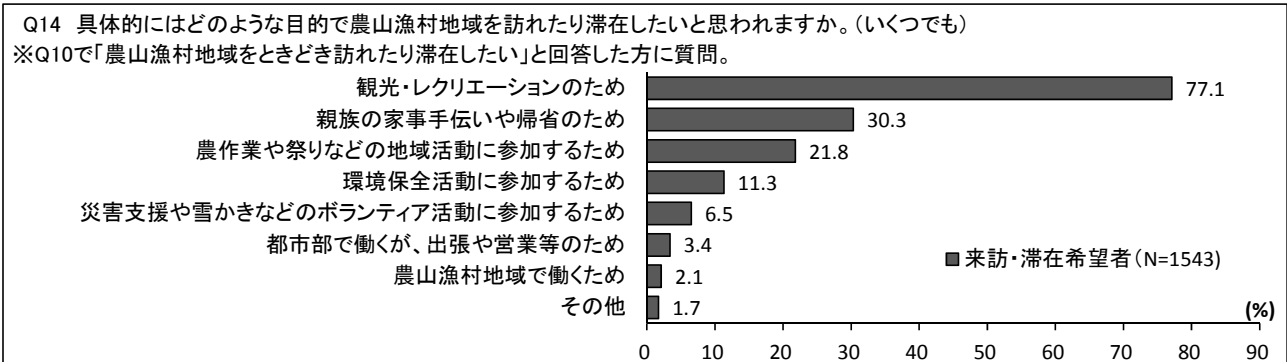
- 移住又は二地域居住を希望する主な理由は、「自然の中で豊かな暮らしができるから」が特に多い。
- 一方で、農山漁村地域への移住又は二地域居住を希望していても、「現実的には難しい」とする人が約4割であり、女性(41.8%)の方が男性(35.6%)よりもその割合は高い。また、20代と60代では、15%超が「具体的なプランがある」とする一方、40代・50代の約45%は「現実的には難しい」としている。
- 「現実的には難しい」と考える理由としては、移住希望者では「実現するきっかけがない」(45.7%)とする人が最も多く、次いで「働く場が少なく、自分にあう仕事を選べない」(39.1%)、「住居などを確保する経済的なコストが大きい」(30.4%)ことが挙げられている。一方、二地域居住希望者では、「住居などを確保する経済的なコストが大きい」(54.5%)、「働く場が少なく、自分にあう仕事を選べない」(42.4%)とする人が多く、「都市部との交通・移動のための経済的なコストが大きい」(31.8%)ことも障害となっている。



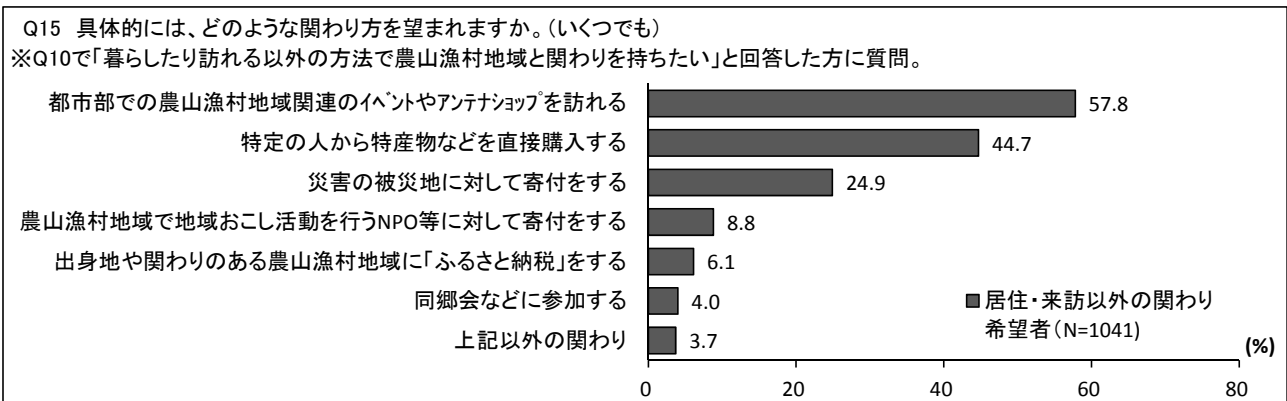


**(4) 移住又は二地域居住以外の農山漁村地域との関わり方(訪問その他)に関する希望**

○農山漁村地域への「訪問・滞在」を希望する人については、「観光・レクリエーション」目的(77.1%)が最も多い。



○農山漁村地域と「居住・訪問以外の関わり」を希望している人については、「都市部でのイベントやアンテナショップ訪問」(57.8%)や「特定の人からの農産物などの直接購入」(44.7%)が特に希望されている。

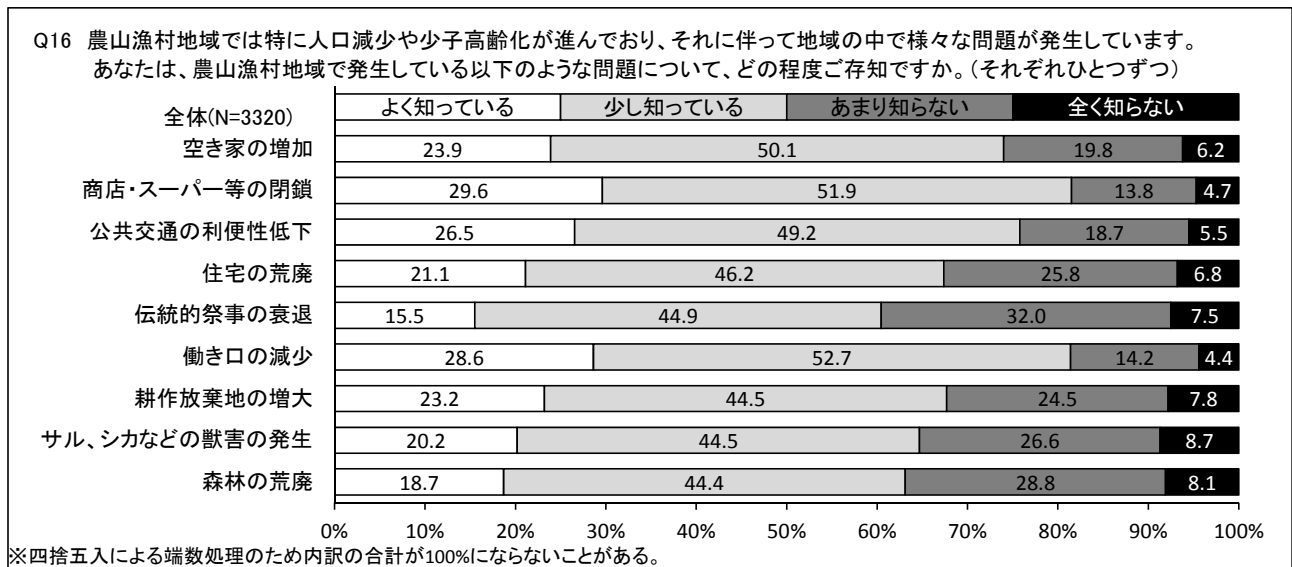


### 3-4. 農山漁村地域で発生している問題の認知度と必要な取組

#### (1) 農山漁村地域で発生している問題の認知度

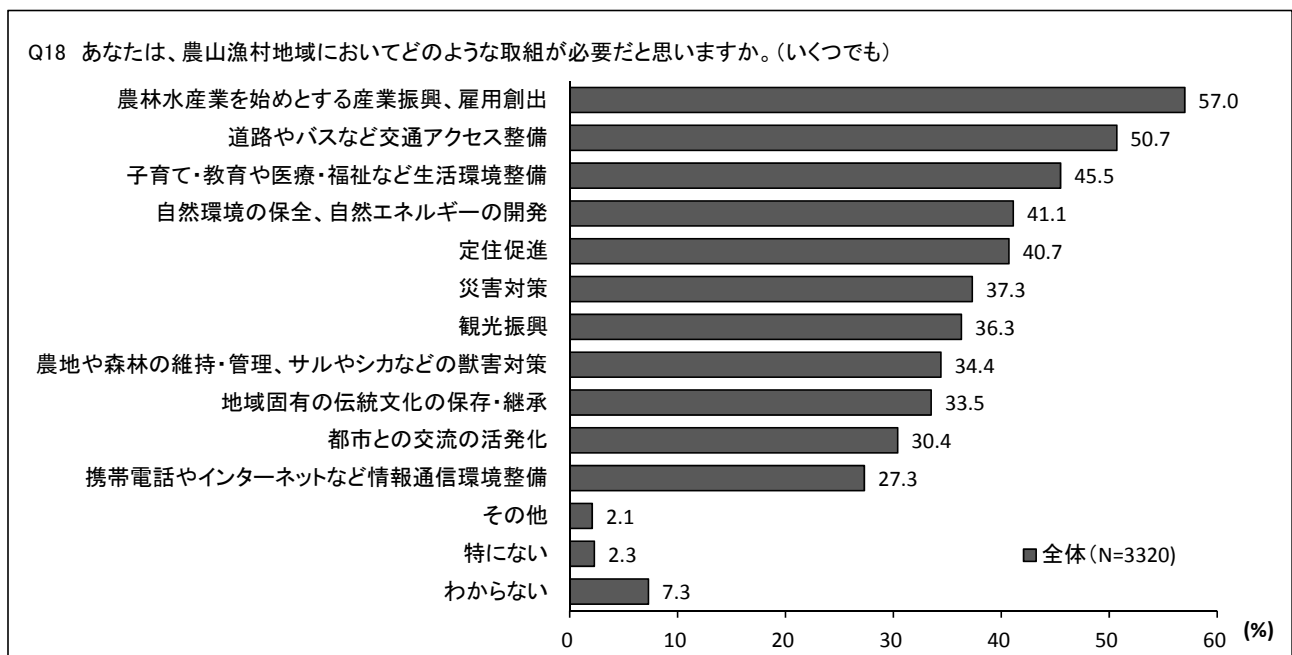
○農山漁村地域で生じている問題として挙げた各項目について、知っていると回答した人がいずれも6割以上となっている。

○特に、「商店・スーパー等の閉鎖」(81.5%)や「働き口の減少」(81.4%)、「公共交通の利便性低下」(75.7%)といった地域住民の生活に関わる問題への認識が高い。



#### (2) 農山漁村地域に対して必要な取組

○農山漁村地域に対して必要と考える取組としては、「産業振興・雇用創出」(57.0%)、「交通アクセス整備」(50.7%)、「生活環境整備」(45.5%)など、地域住民が住み続けるために必要な対策が挙げられている。

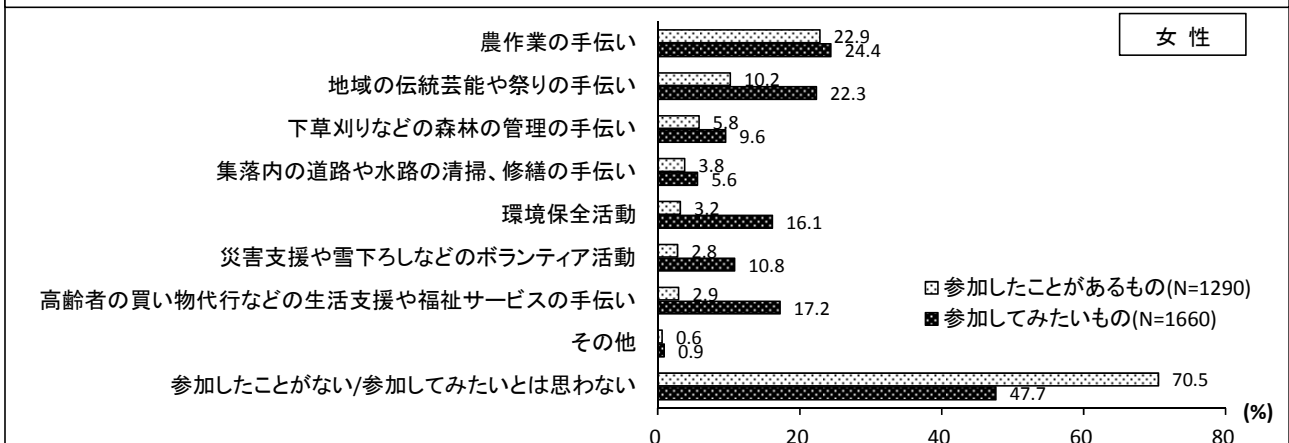
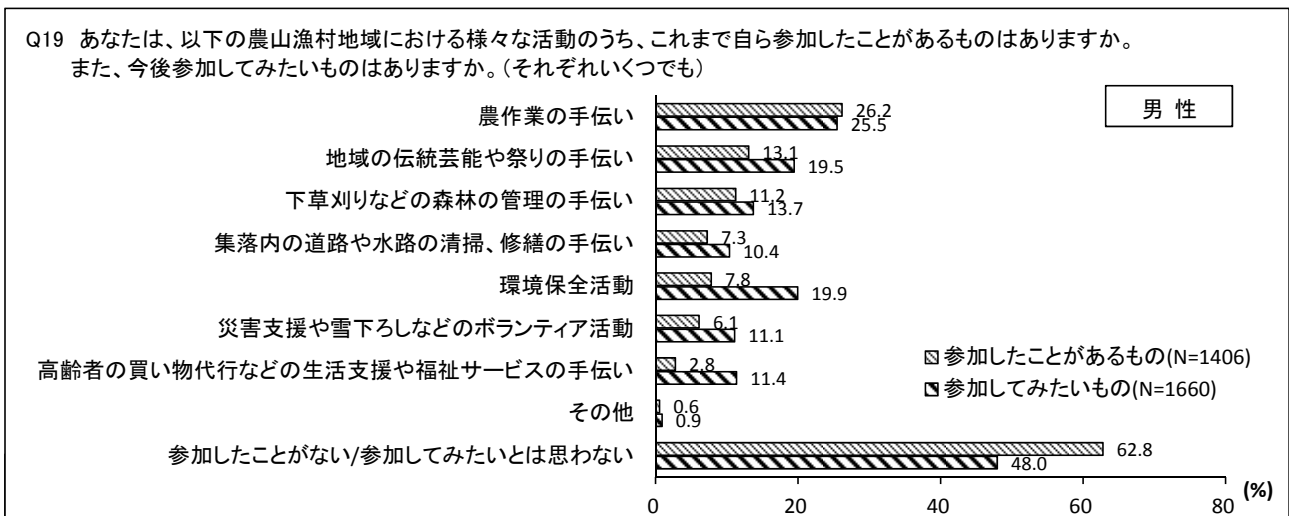
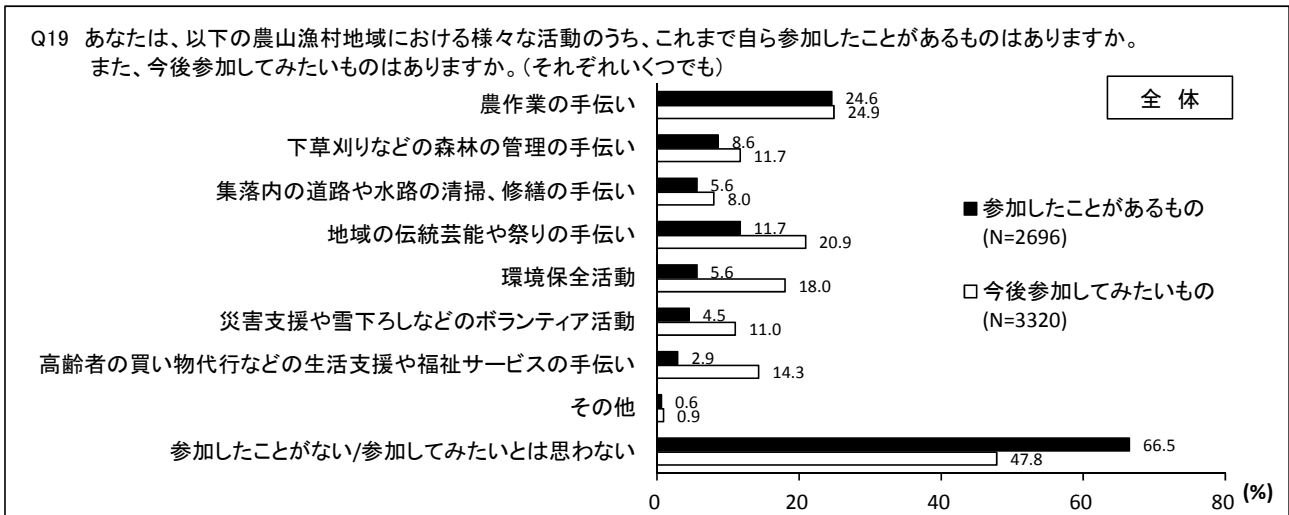


### 3-5. 農山漁村地域での活動への参加状況と今後の参加意向

#### (1) 農山漁村地域での活動へのこれまでの参加状況と今後の参加意向

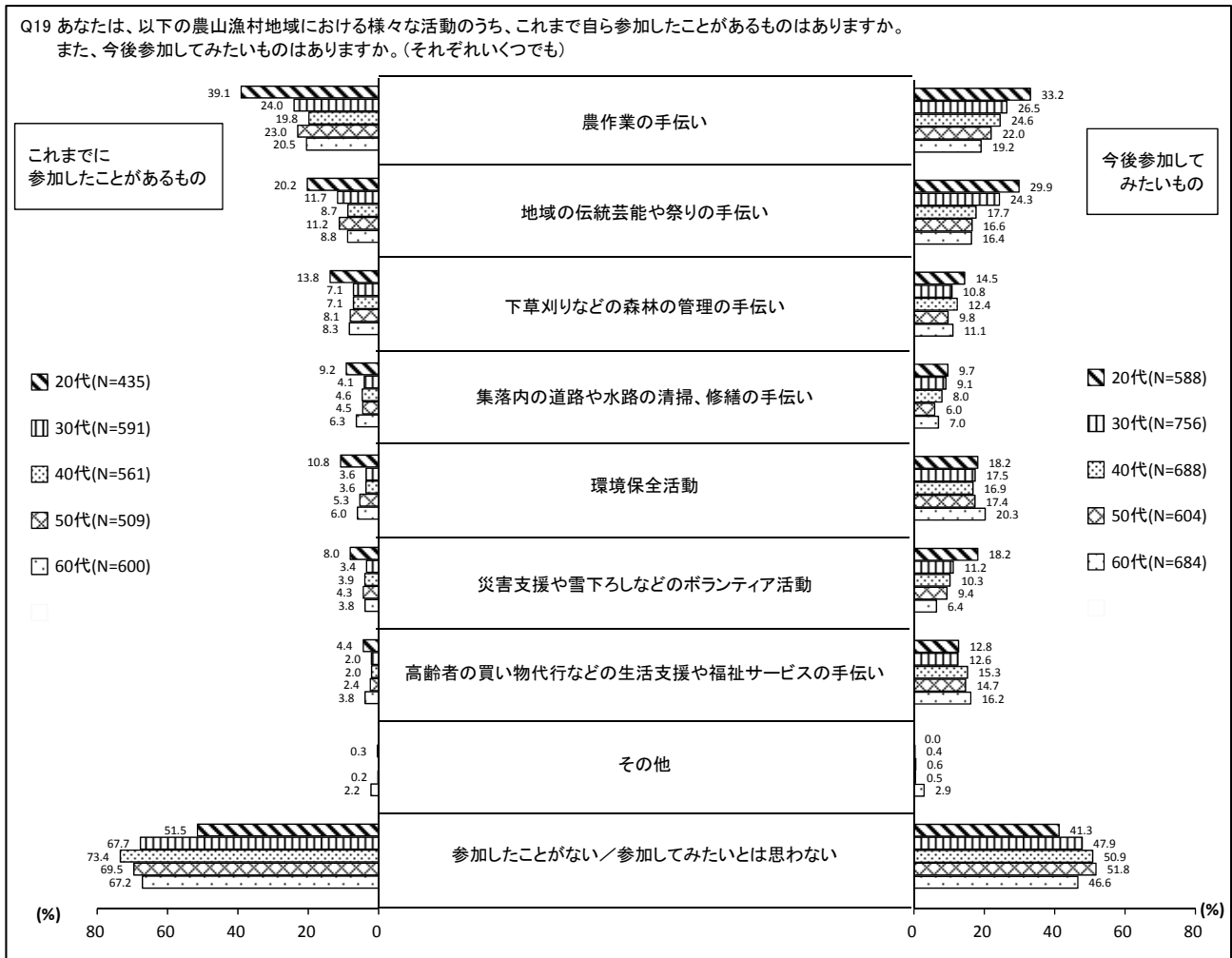
○農山漁村地域を訪れたことのある回答者の7割弱は農山漁村地域における活動への参加経験はない。

○一方で、今後何らかの活動に参加したいという意向は回答者の半数以上が持っており、なかでも「環境保全活動」や「買い物代行などの生活支援や福祉サービスの手伝い」については、参加経験よりも今後の参加意向の方が10ポイント以上高くなっている。また「買い物代行などの生活支援や福祉サービスの手伝い」については、特に女性で参加経験(2.9%)に対して今後の参加意向(17.2%)が高くなっている。



○20代以外は7割前後が集落活動への参加経験はないとしているが、今後についてはいずれの年齢層も5割前後が何らかの活動への参加意向を示している。

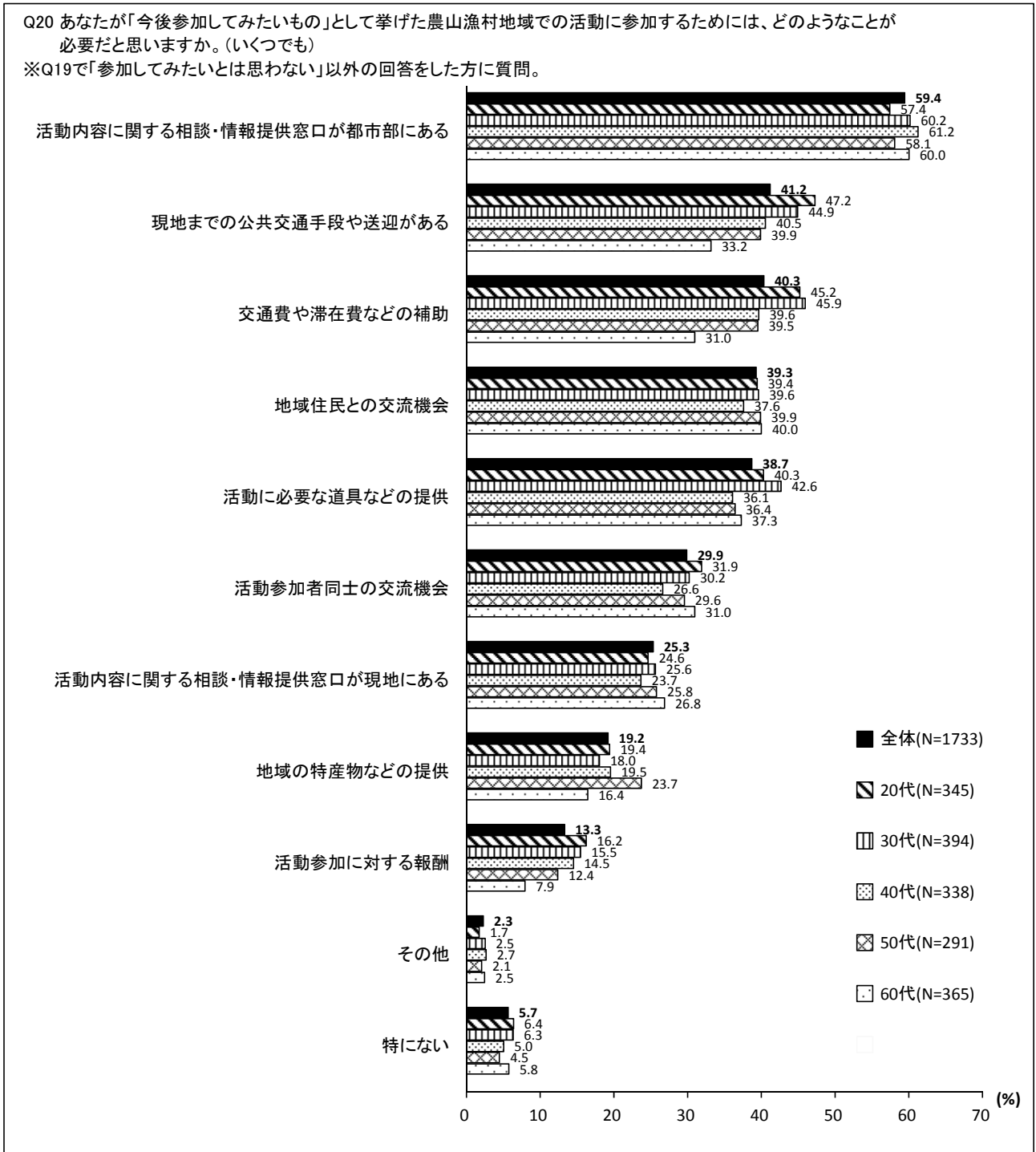
○特に20代では、「農作業の手伝い」(33.2%)や「地域の伝統芸能や祭りの手伝い」(29.9%)、「災害支援や雪下ろしなどのボランティア活動」(18.2%)に対する関心が他の年齢層に比べて高い。



## (2) 農山漁村地域での活動に参加するために必要なこと

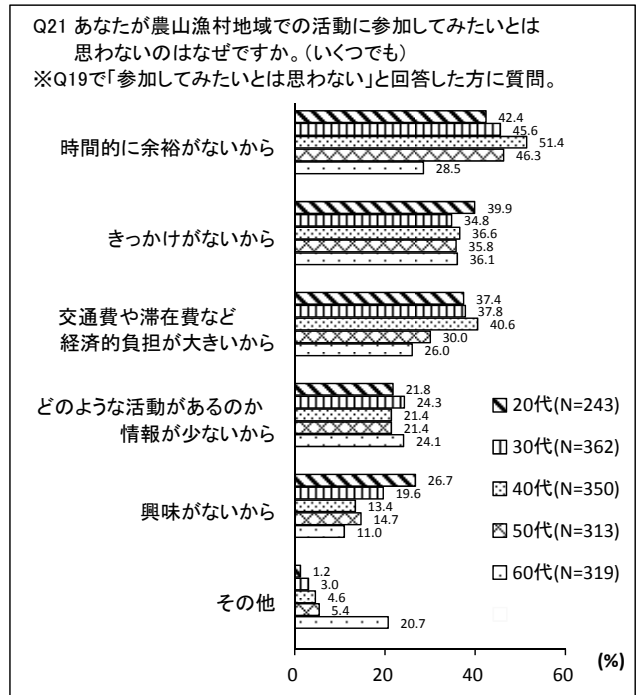
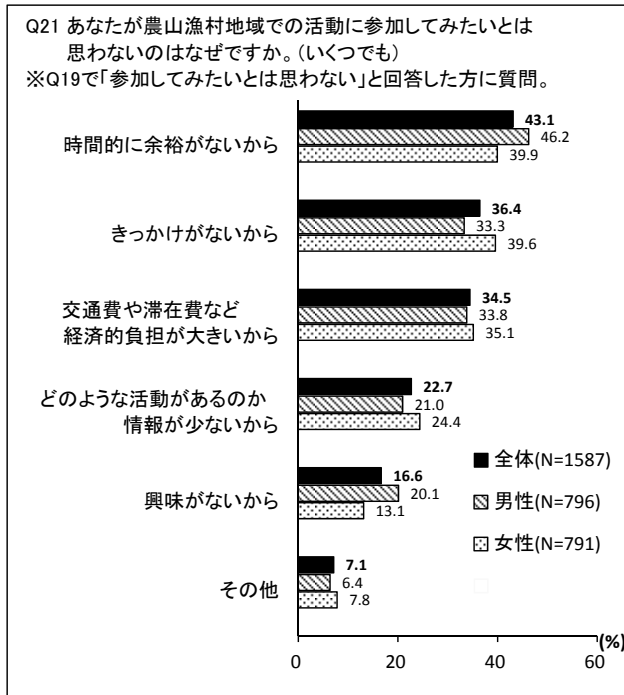
○農山漁村地域での活動に参加する上では、「活動内容に関する相談・情報提供窓口が都市部にあること」(59.4%)が最も必要とされている。

○20代・30代では、「現地までの公共交通手段や送迎」、「交通費や滞在費などの補助」も比較的高い。



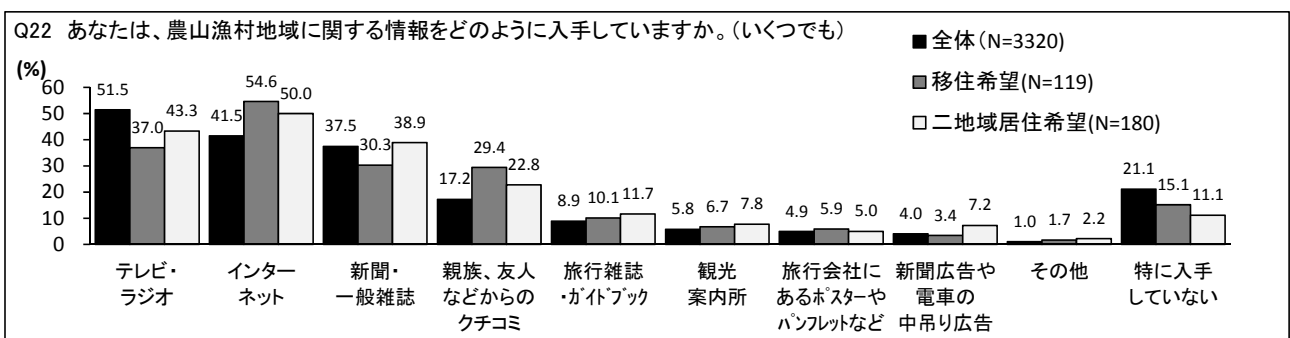
### (3) 農山漁村地域での活動に参加してみたいと思わない理由

- 男性は「時間的に余裕がない」が5割近くと最も多いが、女性は「時間的に余裕がない」とほぼ同程度の割合で「きっかけがないから」という理由も挙げられている。
- 「時間的に余裕がない」という理由は40代を中心に30～50代で比較的多い。20代では「興味がないから」が3割近くと他の年齢層よりも高いが、その一方で「きっかけがないから」も4割近くと他の年齢層よりも高い。
- 経済的負担については、20～40代で比較的多く挙げられている。



### (4) 農山漁村地域に関する情報の入手方法

- 農山漁村地域に関する情報については、主に「テレビ・ラジオ」(51.5%)や「インターネット」(41.5%)、「新聞・一般雑誌」(37.5%)から入手しており、特に移住希望者については、「クチコミ」により情報を入手している人も約3割みられる。



### 農山漁村地域に関するアンケート

この調査は、都市部にお住まいの皆さんが「農山漁村地域」に対してお持ちのイメージや、「農山漁村地域」との関わりなどについて、東日本大震災後の意識の変化も含め調査するため、国土交通省からの委託を受け、実施するものです。

ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

■まず、農山漁村地域に対する印象やイメージについておうかがいします。

**Q1** あなたは、農山漁村地域は日本にとって大切だと思いますか。(ひとつだけ)  
【必須入力】

1	2	3	4
非常に大切だと思う	大切だと思う	大切だとは思わない	全く大切だと思わない
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

※Q1で「非常に大切だと思う」「大切だと思う」と回答した方に質問。

**Q2** 農山漁村地域が日本にとって大切だと思う理由は何ですか。次の中からすべてお選び下さい。  
また、その中で特に大切だと思う理由を3つまで選んでください。  
(大切だと思う理由はいくつでも、特に大切だと思う理由は3つまで)  
※この設問は縦方向にお答えください。  
【必須入力】

	1 大切だと思う理由 (いくつでも)	2 特に大切だと思う理由 (3つまで)
	↓	↓
1. 食料や水を生産・供給しているから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. エネルギーを生産・供給しているから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 観光やレクリエーションの場を提供しているから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. 子どもたちの環境教育・体験学習の場となっているから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. 地域固有の伝統文化を受け継いでいるから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6. 多様な自然環境を有しているから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7. 日本の風土ならではの景観が残されているから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8. 災害から国土を守っているから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9. CO2を吸収する森林を守り、地球温暖化対策に貢献しているから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10. 都市部とは異なる暮らしができるから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11. 日本人にとっての心のふるさとだから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12. その他	<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>

**Q3** 東日本大震災をきっかけに農山漁村地域に対する思いは変わりましたか。(ひとつだけ)  
【必須入力】

1	2	3
以前より大切だと思うようになった	変わらない	以前より大切だと思わなくなった
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

■次に、あなたと農山漁村地域との現在の関わりについておうかがいします。

**Q4** あなたは、農山漁村地域とどのような関わりがありましたか。(ひとつだけ)

【必須入力】

- 1. おおむね農山漁村地域で育った
- 2. 農山漁村地域で育ってはいないが、暮らした経験はある
- 3. 農山漁村地域で育ってはおらず、暮らした経験も(ほとんど)ない

**Q5** あなたには、現在、農山漁村地域で暮らしている親族や友人はいますか。(ひとつだけ)

【必須入力】

- 1. はい
- 2. いいえ

**Q6** あなたは、農山漁村地域をどれくらいの頻度で訪れますか。東日本大震災の前と後それぞれでお答えください。(それぞれの項目についてひとつずつ)

【必須入力】

	1 ほぼ毎週	2 ほぼ毎月	3 年に数回程度	4 年に1回程度	5 数年に1回程度	6 それ以下の頻度	7 訪れたことはない
1. 東日本大震災以前 →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 東日本大震災以降 →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

※Q6で「訪れたことはない」以外の回答をした方に質問。

**Q7** あなたが農山漁村地域を訪れる理由や目的は何ですか。東日本大震災の前と後それぞれでお答えください。(それぞれいくつでも)

※この設問は縦方向にお答えください。

【必須入力】

	1 震災前(いくつでも)	2 震災後(いくつでも)
	↓	↓
1. 都市部のほかに農山漁村地域にも住居があるから(二地域居住)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 農山漁村地域で働いているから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 都市部で働いているが、出張や営業等のため	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. 親族の家事手伝いや帰省のため	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. 観光・レクリエーションのため	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6. 農作業や祭りなどの地域活動に参加するため	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7. 環境保全活動に参加するため	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8. 災害支援や雪かきなどのボランティア活動に参加するため	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9. 上記以外の目的で	<input type="text"/>	<input type="text"/>



**Q8** あなたは、農山漁村地域に対して、直接訪れる以外に、何か関わりを持っていますか。  
東日本大震災の前と後それぞれでお答えください。(それぞれいくつでも)  
※この設問は縦方向にお答えください。

【必須入力】

	1 震災前(いくつでも)	2 震災後(いくつでも)
	↓	↓
1. 特定の人から特産物などを直接購入している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 災害の被災地に対して寄付をしている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 農山漁村地域で地域おこし活動を行うNPOなどに対して寄付をしている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. 出身地や関わりのある農山漁村地域に「ふるさと納税」をしている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. 都市部での農山漁村地域関連のイベントやアンテナショップを訪れる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6. 同郷会などに参加している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7. 上記以外の関わり	<input type="text"/>	<input type="text"/>
8. 特に農山漁村地域との関わりはない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

■今後の農山漁村地域との関わりに対するお考えについておうかがいします。

**Q9** あなたは、東日本大震災をきっかけとして、今後さらに農山漁村地域との関わりを深めたいと思うようになりましたか。  
(ひとつだけ)

【必須入力】

1. はい  
 2. いいえ  
 3. どちらともいえない

**Q10** あなたは今後、農山漁村地域とどのような関わりを持ちたいとお考えになりますか。  
次の中から、最もあなたのお考えに近いものをひとつ選んでください。(ひとつだけ)

【必須入力】

1. 農山漁村地域に移り住みたい  
 2. 都市部のまかに農山漁村地域にも住居を持って行き来する暮らし(二地域居住)をしたい  
 3. 農山漁村地域をときどき訪れたり滞在したい  
 4. 暮らしたり訪れる以外の方法で、農山漁村地域と関わりを持ちたい  
 5. 農山漁村地域と関わりを持ちたいとは思わない

※Q10で「農山漁村地域に移り住みたい」、「二地域居住をしたい」と回答した方に質問。

**Q11** あなたが農山漁村地域で暮らしたいと思う理由は何ですか。  
次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(いくつでも)

【必須入力】

1. 自然の中で豊かな暮らしができるから  
 2. 地域や住民とのつながりが深い暮らしができるから  
 3. 環境に優しい暮らしができるから  
 4. 安くて新鮮で安心・安全な食料が手に入るから  
 5. 安くて広い住宅や土地が手に入るから  
 6. 農作業など都市部ではできない活動ができるから  
 7. 地域固有の伝統文化に触れることができるから  
 8. その他

※Q10で「農山漁村地域に移り住みたい」、「二地域居住をしたい」と回答した方に質問。

**Q12** あなたが望む農山漁村地域での暮らしは、どの程度実現しそうですか。(ひとつだけ)

【必須入力】

- 1. 具体的なプランがある
- 2. 具体的なプランはないが、いずれ実現できると思う
- 3. 現実的には難しいと思う

※Q12で「現実的には難しいと思う」と回答した方に質問。

**Q13** 農山漁村地域で暮らしたいが「現実的には難しい」とお考えになる理由は何ですか。

次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(いくつでも)

【必須入力】

- 1. 農山漁村地域で暮らしたことがなく、うまく暮らせるか不安だから
- 2. 家族の理解が得られないから
- 3. 働く場が少なく、自分に合う仕事が選べないから
- 4. 子どもの教育環境に不安があるから
- 5. 日常生活に必要なサービスや社会インフラが不足しているから
- 6. 住居などを確保する経済的なコストが大きいため
- 7. 都市部との交通・移動のための経済的なコストが大きいため
- 8. 実現するきっかけがないから
- 9. その他

※Q10で「農山漁村地域をときどき訪れたり滞在したい」と回答した方に質問。

**Q14** 具体的にどのような目的で農山漁村地域を訪れたり滞在したいと思われますか。

次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(いくつでも)

【必須入力】

- 1. 農山漁村地域で働くため
- 2. 都市部で働くが、出張や営業等のため
- 3. 親族の家事手伝いや帰省のため
- 4. 観光・レクリエーションのため
- 5. 農作業や祭りなどの地域活動に参加するため
- 6. 環境保全活動に参加するため
- 7. 災害支援や雪かきなどのボランティア活動に参加するため
- 8. その他

※Q10で「暮らしたり訪れる以外の方法で農山漁村地域と関わりを持ちたい」と回答した方に質問。

**Q15** 具体的には、どのような関わり方を望まれますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(いくつでも)

【必須入力】

- 1. 特定の人から特産物などを直接購入する
- 2. 災害の被災地に対して寄付をする
- 3. 農山漁村地域で地域おこし活動を行うNPOなどに対して寄付をする
- 4. 出身地や関わりのある農山漁村地域に「ふるさと納税」をする
- 5. 都市部での農山漁村地域関連のイベントやアンテナショップを訪れる
- 6. 同郷会などに参加する
- 7. 上記以外の関わり

■農山漁村地域が直面する課題や対策に関するお考えについておうかがいします。

**Q16** 農山漁村地域では特に人口減少や少子高齢化が進んでおり、それに伴って地域の中で様々な問題が発生しています。あなたは、農山漁村地域で発生している以下のような問題について、どの程度ご存知ですか。  
(それぞれの項目についてひとつずつ)

【必須入力】

	1 よく知っている	2 少し知っている	3 あまり知らない	4 全く知らない
1. 空き家の増加 →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 商店・スーパー等の閉鎖 →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. 公共交通の利便性低下 →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4. 住宅の荒廃 →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5. 伝統的祭事の衰退 →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6. 働き口の減少 →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7. 耕作放棄地の増大 →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8. サル、シカなどの獣害の発生 →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9. 森林の荒廃 →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

**Q17** 上記以外の項目で、農山漁村地域で発生している問題と認識していることがありましたら、できるだけ具体的にお答えください。

※500文字以内でご記入ください。

**Q18** あなたは、農山漁村地域においてどのような取組が必要だと思いますか。(いくつでも)

【必須入力】

- 1. 定住促進
- 2. 都市との交流の活発化
- 3. 農林水産業を始めとする産業振興、雇用創出
- 4. 観光振興
- 5. 子育て・教育や医療・福祉など生活環境整備
- 6. 道路やバスなど交通アクセス整備
- 7. 携帯電話やインターネットなど情報通信環境整備
- 8. 農地や森林の維持・管理、サルやシカなどの獣害対策
- 9. 災害対策
- 10. 自然環境の保全、自然エネルギーの開発
- 11. 地域固有の伝統文化の保存・継承
- 12. その他
- 13. 特にない
- 14. わからない

**Q19** あなたは、以下の農山漁村地域における様々な活動のうち、これまで自ら参加したことがあるものはありますか。また、今後参加してみたいものはありますか。(それぞれいくつでも)  
※この設問は縦方向にお答えください。

【必須入力】

	1 参加したことがあるもの (いくつでも)	2 今後参加してみたいもの(いくつでも)
	↓	↓
1. 農作業の手伝い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 下草刈りなどの森林の管理の手伝い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 集落内の道路や水路の清掃、修繕の手伝い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. 地域の伝統芸能や祭りの手伝い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. 環境保全活動	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6. 災害支援や雪下ろしなどのボランティア活動	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7. 高齢者の買い物代行などの生活支援や福祉サービスの手伝い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8. その他	<input type="text"/>	<input type="text"/>
9. 参加したことがない/参加してみたいとは思わない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※Q19で「参加してみたいとは思わない」以外の回答をした方に質問。

**Q20** あなたが前問で「今後参加してみたいもの」として挙げた農山漁村地域での活動に参加するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(いくつでも)

【必須入力】

- 1. 活動内容に関する相談・情報提供窓口が現地にある
- 2. 活動内容に関する相談・情報提供窓口が都市部にある
- 3. 地域住民との交流機会
- 4. 活動参加者同士の交流機会
- 5. 交通費や滞在費などの補助
- 6. 現地までの公共交通手段や送迎がある
- 7. 活動に必要な道具などの提供
- 8. 活動参加に対する報酬
- 9. 地域の特産物などの提供
- 10. その他
- 11. 特になし

※Q19で「参加してみたいとは思わない」と回答した方に質問。

**Q21** あなたが農山漁村地域での活動に参加してみたいとは思わないのはなぜですか。(いくつでも)

【必須入力】

- 1. 興味が無いから
- 2. 時間的に余裕が無いから
- 3. 交通費や滞在費など経済的負担が大きいから
- 4. どのような活動があるのか情報が少ないから
- 5. きっかけが無いから
- 6. その他

Q22

あなたは、農山漁村地域に関する情報をどのように入手していますか。(いくつでも)

【必須入力】

1. 新聞・一般雑誌
2. テレビ・ラジオ
3. インターネット
4. 旅行雑誌・ガイドブック
5. 旅行会社にあるポスターやパンフレットなど
6. 観光案内所
7. 新聞広告や電車の中吊り広告など
8. 親族、友人などからのクチコミ
9. その他
10. 特に入手していない

■最後に、あなたご自身のことについておたずねします。

Q23

あなたのお住まいの都市はどちらですか。(ひとつだけ)

【必須入力】

【北海道・東北圏】

1. 札幌市
2. 旭川市
3. 仙台市
4. 秋田市
5. 郡山市
6. いわき市
7. 新潟市

【首都圏】

8. 宇都宮市
9. 前橋市
10. 高崎市
11. さいたま市
12. 川越市
13. 川口市
14. 所沢市
15. 越谷市
16. 千葉市
17. 市川市
18. 船橋市
19. 松戸市
20. 柏市
21. 特別区部(東京23区)
22. 八王子市
23. 町田市
24. 横浜市
25. 川崎市
26. 相模原市
27. 横須賀市
28. 藤沢市

38. 一宮市
39. 春日井市
40. 豊田市
41. 四日市市

【近畿圏】

42. 大津市
43. 京都市
44. 大阪市
45. 堺市
46. 豊中市
47. 吹田市
48. 高槻市
49. 枚方市
50. 東大阪市
51. 神戸市
52. 姫路市
53. 尼崎市
54. 西宮市
55. 奈良市
56. 和歌山市

【中国圏・四国圏】

57. 岡山市
58. 倉敷市
59. 広島市
60. 福山市
61. 高松市
62. 松山市
63. 高知市

【九州圏・沖縄県】

【北陸圏・中部圏】

- 29. 富山市
- 30. 金沢市
- 31. 長野市
- 32. 岐阜市
- 33. 静岡市
- 34. 浜松市
- 35. 名古屋市
- 36. 豊橋市
- 37. 岡崎市

- 64. 北九州市
- 65. 福岡市
- 66. 久留米市
- 67. 長崎市
- 68. 熊本市
- 69. 大分市
- 70. 宮崎市
- 71. 鹿児島市
- 72. 那覇市
  
- 73. 上記以外の地域

Q24

あなたには中学生以下のお子さんはいらっしゃいますか。(ひとつだけ)

【必須入力】

- 1. いる
- 2. いない

アンケートは以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。  
回答もれがないか確認し、よろしければ「送信」ボタンをクリックしてください。

送 信